



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2007. 2月号

第8回博物館まつり

博物館の行事に参加・活動されている市民が、参加団体の活動成果の展示と発表、実演を行い、活動を紹介します。期間中は博物館特別展示室での10団体の展示をはじめ、館内でのイベント4団体、館外でのイベント2団体、講堂での発表7団体と、博物館に集う多彩な「まつり」が展開されます。



- ・主催 平塚市博物館・博物館まつり実行委員会
- ・展示会場 平塚市博物館特別展示室
- ・期間 平成19年2月10日（土）～2月25日（日）

- ・展示参加団体 10団体
 - ・平塚の空襲と戦災を記録する会 ・民俗探訪会 ・石仏を調べる会
 - ・馬入水辺の楽校生き物調べの会 ・漂着物を拾う会
 - ・展示解説ボランティアの会 ・天体観察会 ・星まつりを調べる会
 - ・古代生活実験室 ・平塚の古代を学ぶ会

プラネタリウム とよりの星へ

2月10日(土)～4月8日(日)

土日の午前11時と午後2時の回
(3月6日、4月7日の午後2時の回をのぞく)

今、最も遠くを飛んでいる人工天体はボイジャー1号。太陽を離れてもう150億kmのあなたを飛んでいます。ここまで飛び出すのに30年。となりの星まで行こうとすると、まだまだ気の遠くなる時間が必要です。アニメやゲームでは当たり前でも、実際に行くことは難しい宇宙旅行。しかしシミュレーションでは宇宙を飛び回れるようになりました。

このたびプラネタリウムに加わった新たな機能を使って、おとなりの星ケンタウルス座アルファ星群をはじめに、シリウス、プロキオンなどいくつかのお隣の星まで行ってみることにしましょう。



虹とそのなかま

2月1日(木)～4月1日(日)
寄贈品コーナー

昨年12月3日、雲間から射し込んだ朝日が鮮やかな虹を作り出し、市内の各所で目撃されました。当博物館にも、インターネットを通じて写真の投稿をいただきました。

いったい、虹はどうして現れるのでしょうか。あのトンネルはなぜくぐることができないのでしょうか。

虹は雨粒と太陽の光が織り成す現象です。まるい水滴の「中で」反射した光が、美しい七色の輝きを作るのです。反射した光ですから、虹に向かっていくら歩いても、むこうがわに行くことは決してできません。

また、くわしく観察すると、二重の虹など、珍しい虹に出会えることもあります。

今月の寄贈品コーナーは、いただいた虹の写真を元に、複雑な虹や、虹と同じような光を見せるその他の現象を紹介します。



劔持瑞穂さんからホームページの「みんなの自然アルバム」に投稿いただいた写真より

第8回博物館まつり行事案内

＜実演などの行事＞

- ☆ 『相模川』というテーマで展示室のご案内 展示解説ボランティアの会 毎日 10 時～ 15 時 (自由参加)
- ☆ 「クラフト教室」 漂着物を拾う会 2月10日(土) 13時～15時 (自由参加)
- ☆ 「火起こし体験 アンギン織り」 古代生活実験室 2月17日(土) 10時～12時 (自由参加)
- ☆ 「昼間の星を見よう」 天体観察会 2月17日(土) 10時～12時 (自由参加)
- ☆ 「博物館周辺の石材めぐり」 平塚地質調査会 2月17日(土) 10時30分～12時 (自由参加)
- ・・・博物館の周りにある石材を見ながら地球のロマンを解説します。なお雨天時は館内の展示室にて行います。
- ☆ 「神田の石仏ウォーキング」 石仏を調べる会 2月24日(土) 10時～15時
- ・・・事前に申込が必要です。往復はがきに住所・氏名・電話番号をご記入の上、2月16日までに博物館にお送りください。定員30名。応募多数の場合は抽選とします。

＜発表会＞

2月17日(土) 時間：13時～16時 (自由参加)

～発表団体～

- ・平塚の空襲と戦災を記録する会
- ・民俗探訪会
- ・石仏を調べる会
- ・馬入水辺の楽校生き物調べの会
- ・漂着物を拾う会
- ・天体観察会
- ・星まつりを調べる会

～プログラム～

13:00～13:10	あいさつ	14:40～15:00	民俗探訪会
13:10～13:30	星まつりを調べる会	15:00～15:20	平塚の空襲と戦災を記録する会
13:30～13:50	漂着物を拾う会	15:20～15:40	天体観察会
13:50～14:10	馬入水辺の楽校生き物調べの会	15:40～16:00	まとめ、あいさつ
14:10～14:30	石仏を調べる会		
14:30～14:40	休憩		



1木	○ 展示解説ボランティアの会 寄贈品コーナー「虹とそのなかま」 ～4月1日	特研室 寄贈品
2金	古文書講読会	講堂
3土	○ 館長の自然講座 ☆ 2月の星空ナビ ○ あなたも市民調査員 「平塚のどんど焼きを調べよう」	講堂 講堂 プラネ 特研室
4日	平塚の古代を学ぶ会 相模川の生い立ちを探る会	特研室 小田原
8木	石仏を調べる会	特研室
9金	古文書講読会	講堂
10土	天体観察会 星まつりを調べる会 ◎ 漂着物を拾う会 ☆ プラネタリウム「となりの星へ」 ～4月8日 ☆ 博物館まつり ～2月25日	野外 特研室 虹ヶ浜 プラネ 特展室
15木	○ 展示解説ボランティアの会	特研室
16金	古文書講読会 ◎ 星を見る会 ☆ ミニ文化祭「田んぼが育む生命」 ～3月15日	講堂 屋上 2階展 示室
17土	古代生活実験室 地質調査会 博物館まつり発表会	科学室 屋外 講堂
18日	○ 水辺の楽校生きもの調べの会 ◎ ろばたばなし	屋外 民家
21水	裏打ちの会 民俗探訪会	科学室 講堂
22木	石仏を調べる会	特研室
23金	古文書講読会	講堂
24土	平塚の空襲と戦災を記録する会 地域史研究ゼミ ○ 自然の新聞を作る会	講堂 講堂 屋外
25日	地質調査会 ◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	科学室 プラネ

1木	○ 展示解説ボランティアの会	特研室
2金	古文書講読会	講堂
3土	星まつりを調べる会 ○ 館長の自然講座 ☆ 3月の星空ナビ	特研室 講堂 プラネ
4日	○ 水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
8木	石仏を調べる会	特研室
9金	古文書講読会	講堂
10土	天体観察会 ◎ 漂着物を拾う会	野外 虹ヶ浜
11日	天体観察会 平塚の古代を学ぶ会 地質調査会	野外 特研室 科学室
15木	○ 展示解説ボランティアの会	特研室
16金	古文書講読会	講堂
17土	☆ 春期特別展「幕末の村おこし二宮 尊徳と片岡村・克讓社の報徳仕法」 ～5月6日まで 古代生活実験室 地質調査会	特展室 科学室 屋外
18日	◎ ろばたばなし	民家
21水	裏打ちの会	科学室
22木	石仏を調べる会	特研室
23金	古文書講読会 ◎ 星を見る会	講堂 屋上
24土	平塚の空襲と戦災を記録する会 地域史研究ゼミ	講堂 講堂
25日	◎ 特別展記念講演会 相模川の生い立ちを探る会	講堂 三浦市
30金	○ 雑貨団	プラネ

日時：2月25日（日）15時30分～16時30分

参加：自由、無料

場所：プラネタリウム

☆ミニ文化祭「田んぼが育む生命」

東海大学の研究室による展示です。

日時：2月16日（金）～3月15日（木）

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時：2月10日（土）午前9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由（初めてのの方は往復はがきで申し込むこと）

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時：2月18日（日）

(1)午後1時20分～(2)午後3時～

場所：展示室民家 参加：自由

◎星を見る会

日時：2月16日（金）午後6時～

場所：博物館屋上 参加：自由

○自然の新聞を作る会

日時：2月24日（日）午後1時30分～

場所：吉沢霧降の滝周辺

参加：往復はがきで申込。

<展示とプラネタリウム>

☆「第8回博物館まつり」

日時：2月10日（土）～2月25日（日）

☆寄贈品コーナー「虹とそのなかま」

日時：2月1日（木）～4月1日（日）

☆プラネタリウム

☆プラネタリウム「となりの星へ」

日時：2月10日（土）～4月8日（日）の土日の午前11時と午後2時（3月3日、4月7日の午後2時の回をのぞく）

観覧料：100円（中学生以下無料）

☆2月の星空ナビ

2月の天文現象の解説をします。

日時：2月3日（土）午後2時の回

◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会

「日食と月食－見えない理由」

3月に一度ずつ起きる日食月食が平塚で見られないのはなぜ？

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制

あなたと博物館 33巻11号 通算362号 発行 平塚市博物館 2400

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>